

全体評価

令和7年度：全体として年度計画を上回って実施しており、「優れた業務の進捗状況にある」
第1期見込：全体として中期計画を概ね順調に実施しており、「着実な業務の達成状況にある」

項目別評価

機構の業務実績等報告書の検証等を踏まえ、事業の進捗状況及び成果を評価項目ごとに5段階で評価

	評価項目	R4	R5	R6	R7		見込	
					法人	都	法人	都
行政的医療	がん医療	A	A	A	A	A	A	A
	精神疾患医療	A	B	A	A	A	A	A
	救急医療	A	A	A	A	A	A	A
	災害医療	B	S	B	S	A	A	A
	島しょ医療	A	B	B	A	A	B	A
	周産期医療	A	A	S	S	S	S	S
	小児医療	S	A	A	A	S	A	S
	感染症医療	S	A	B	B	B	A	A
	難病医療	A	A	B	B	B	B	B
	障害者医療	A	B	B	B	B	B	B
	総合診療の提供	B	A	A	S	A	A	A
	その他の行政的医療、高度・専門的医療等の提供	B	A	B	B	A	B	A
行政的医療以外	災害や公衆衛生上の緊急事態への優先した対応	S	S	B	A	B	S	S
	地域包括ケアシステム構築に向けた取組	B	B	A	A	A	A	A
	健康増進及び疾病予防に向けた普及啓発	B	B	B	B	B	B	B
	患者中心の医療の推進	B	B	B	A	A	B	B
	質の高い医療の提供	A	B	B	B	B	B	B
	診療データの活用及び臨床研究・治験の推進	B	B	B	B	B	B	B
	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	A	A	A	S	S	S	A
	財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	A	C	C	B	B	B	C
	その他業務運営に関する重要事項	B	B	B	B	B	B	B

< 評語 >

- 全体評価 ※（）内は見込評価の文言
- 特筆すべき業務の進捗（達成）状況にある
 - 優れた業務の進捗（達成）状況にある
 - 着実な業務の進捗（達成）状況にある
 - 業務の進捗状況に遅れが見られる（やや不十分な達成状況にある）
 - 業務の進捗状況に大幅な遅れが見られ、業務の改善が必要（不十分な業務の達成状況にある）

項目別評価

S … 年度計画を大幅に上回って実施している
A … 年度計画を上回って実施している
B … 年度計画を概ね順調に実施している
C … 年度計画を十分に実施できていない
D … 業務の大幅な見直し・改善が必要である

< 項目別評価計 >

都評価	R4	R5	R6	R7	見込
全体評価	優れた	着実	着実	優れた	着実
S	2	2	1	3	3
A	11	9	7	9	10
B	8	9	12	9	7
C	0	1	1	0	1
D	0	0	0	0	0

法人評価	R4	R5	R6	R7	見込
S	4	5	3	4	3
A	11	12	4	8	8
B	6	4	14	9	10
C	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	0

業務実績評価の評語まとめ

項目	R7年度評価						全体評価：優れた	第1期中期目標期間の見込み評価		着実
	R4	R5	R6	指標実績 ()はR7目標比 ※青字はR6実績値以上、黒字は未滿			評語のポイント	評語 (法人評価)	評語のポイント	
	R7 (法人評価)									
01 がん	A	A	A	がん手術	IMRT・定放線	外来化学療法	・ パネル検査拡充、CAR-T療法の件数増(R6:47→R7:55) ・ 多摩総東館の開設による検査機能の向上	A (A)	・ 集学的治療(手術、放射線、薬物)の推進 ・ パネル検査、CAR-T療法の拡充、希少がんセンターの設置	
	A (A)			7,892件 (101.8%)	26,545件 (96.2%)	44,470件 (107.3%)				
02 精神	A	B	A	精神科身体合併症患者数（新入院）			・ 摂食障害拠点として相談支援を本格実施 ・ 医観法病棟で他施設と交流研修制度導入	A (A)	・ 夜間休日救急、身体合併症患者の着実な受入れ ・ アルコール、摂食障害の拠点病院に指定	
	A (A)			735人 (117.2%)						
03 救急	A	A	A	救急入院患者	救急車搬送患者数		・ 10病院でR6上回る応需率、小児総9割超 ・ CCU受入実績大幅増(R6:1,755→R7:2,122)	A (A)	・ 救急搬送、入院件数、応需率の増加 ・ 小児総、毎年度9割超の応需率維持	
	A (A)			43,276人 (101.3%)	57,385人 (105.8%)					
04 災害	B	S	B	—			・ 実践型の研修による人材育成 ・ 関東ブロックDMAT訓練の企画運営 (都内90病院、関東1都6県1,028人参加)	A (A)	・ 有事への備え(医療救護班研修、DMAT) ・ 一元的な危機管理体制の構築・強化 ・ 実践型の研修による人材育成	
	A (S)									
05 島しょ	A	B	B	島しょ新入院患者数			・ 島しょ救急搬送に占める実績割合1.7pt↑ ・ 大島医療センターでの専門外来開設 ・ しまやくネット（薬剤師）との連携開始	A (B)	・ 島しょ救急搬送 都内シェア9割以上 ・ 遠隔での画像診断及び診療支援の充実 ・ 医師派遣、webカンファ等による連携	
	A (A)			1,128人 (86.1%)						
06 周産期	A	A	S	母体搬送受入件数	超低出生体重児件数		・ ファミリーセンタードケア事業受託、NIDCAPの推進 ・ 産後ケア外来の拡充、無痛分娩の実績増	S (S)	・ ハイリスク、コロナ妊産婦等を受入れ ・ 多摩北で産婦人科標榜し、体制強化 ・ 産後ケア外来拡充、不妊治療開始	
	S (S)			638件 (105.5%)	118件 (110.3%)					
07 小児	S	A	A	救急患者数(小児)	PICU新入室患者数		・ 小児救急の応需率約97% ・ 小児総のレスパイト入院受入実績増 (R6:180→R7:248)	S (A)	・ コロナやRS等、感染症に積極的な対応 ・ 計画期間中、約97%の救急応需率を維持 ・ 専門医療の提供、重症患者の受入れ	
	S (A)			4,477人 (93.3%)	859人 (107.4%)					
08 感染症	S	A	B	—			・ 感染症発生時の危機管理に係る手引策定 ・ 駒込、荏原、墨東で新フル対応訓練 ・ 関係機関との合同カンファ、訓練実施	A (A)	・ コロナ対応（臨時施設、後遺症相談等） ・ 訓練（新フル、一類等） ・ 全病院が都と医療措置協定を締結	
	B (B)									
09 難病	A	A	B	ALSセンター介入率	てんかん手術		・ 神経系免疫関連有害事象コンサル開始 ・ 小児総の難治性てんかん実績増(PICU持続脳波検査R6:117→R7:139)	B (B)	・ 神経病院を中心に多摩キャンパスで、指定難病の9割に対応できる体制を確保	
	B (B)			34.0% (▲1.0pt)	29件 (72.5%)					
10 障害者	A	B	B	—			・ 障害歯科、訪看への技術支援を着実に実施 ・ 小児総のレスパイト入院受入実績増 (R6:180→R7:248)	B (B)	・ 障害歯科、訪看技術支援を着実に実施 ・ レスパイト・在宅難病一時受入体制拡充	
	B (B)									

■ 業務実績評価の評語まとめ

項目	R7年度評価						第1期中期目標期間の見込み評価		
	評語			指標実績			評語のポイント		評語
11 総合診療	B	A	A	—			・地域の医師へのリスクリング事業開始 ・広尾のモデル実施効果の4病院への展開 ・アライアンス強化による専攻医育成	A (A)	・都立5病院の総診体制整備、専攻医育成 ・アライアンスによる都全体の専攻医育成 ・地域の医師へのリスクリング事業開始
	A (S)								
12 その他の医療	B	A	B	全身麻酔	ロボット支援	生体腎移植	・内視鏡等の低侵襲治療の実績増加 ・外国人対応強化、デフリンピックへの協力	A (B)	・小児総アルギ [®] -入院(R4:1165→R7:1400) ・低侵襲治療、全4項目で実績増 ・外国人受入体制強化（通訳、翻訳ツール等）
	A (B)			37,278件 (108.3%)	2,127件 (120.4%)	8件 (66.7%)			
13 緊急事態	S	S	B	—			・災害等の緊急事態への対応はなし ・有事対応力強化に向けた人材育成 (医療救護班リーダー養成、DMAT訓練等)	S (S)	・新型コロナ対応(都の要請に柔軟に対応) ・能登半島地震対応(延111人職員派遣) ・有事対応力強化のための人材育成
	B (A)								
14 地域包括ケア	B	B	A	紹介率	返送・逆紹介率	訪看同行支援	・病院救急車実績増(R6:248→R7:580) ・多摩南で介護施設との連携締結 ・小児総が地域医療支援病院に指定	A (A)	・紹介約80%、逆紹介約90%、目標達成 ・新たに2病院が地域医療支援病院に指定 ・地域の医療人材育成、技術支援
	A (A)			78.0% (▲1.0pt)	90.0% (+5.0pt)	506件 (61.0%)			
15 健康増進	B	B	B	—			・SNSやコラム冊子化などによる普及啓発 ・ヘルスケアポ [®] ーター養成講座を学術団体と初共催	B (B)	・公式LINEの開設、ヘルスケアポ [®] ート通信の発刊 ・病院や各種団体と連携しヘルスケアポ [®] ーター養成講座を開催
	B (B)								
16 患者中心	B	B	B	患者満足度(入院)	患者満足度(外来)		・子供の意見を聴取し、こども患者権利章典を制定 ・外部評価等を活用したサービス改善	B (B)	・全病院に患者地域サポートセンター設置 ・患者権利章典制定、ACPの指針策定
	A (A)			12 /14病院で達成	7 /13病院で達成				
17 質の高い	A	B	B	IAの医師報告割合	救急車・ホットライン応需率		・機構共通のQI+病院独自の指標設定 ・IA報告は8病院でR6実績超 ・他施設と合同で医療安全研修実施	B (B)	・機構共通のQI+病院独自の指標設定 ・IAレポートシステム統一による運用改善 ・医療安全研修の継続実施
	B (B)			2 /14病院で達成	8 /13病院で達成				
18 診療データ・研究	B	B	B	治験・受託研究			・中央研究倫理審査委員会の設置・運営 ・データプラットフォームを試験導入し、本格稼働に向け準備開始	B (B)	・研究推進センターの設置・体制強化 ・中央研究倫理審査委員会の設置・運営
	B (B)			316件 (112.9%)					
19 業務運営	A	A	A	新卒看護師離職率	職員満足度		・医業収支改善の取組（新規、上位施設基準取得、新法人設立による共同購入等） ・電子カルテ統一に向けた契約締結	A (S)	・柔軟な人材確保を可能とする人給制度（少数職種の設定、人材確保手当） ・法人本部と各病院の協働による業務改善
	S (S)			10.4% (+1.4pt悪化)	72.7% (+2.7pt)				
20 財務内容	A	C	C	経常収支比率	医業収支比率	病床利用率	・114億円の純損失も医業収支70億円改善 ・医業収支比率はR6比で3.4pt ↑ ・経常収支比率は目標超かつR6比で4.4pt ↑	C (B)	・改善は見られるものの、目標を下回る見込み(経常収支比率:100%→95.2%、医業収支比率:80.7%→73.8%)
	B (B)			95.7% (+1.0pt)	75.7% (▲0.4pt)	68.1% (▲4.7pt)			
21 その他業務	B	B	B	情報セキュリティ研修受講率			・他団体と連携し共同調達に係る新法人設立 ・サイバー攻撃に備えた訓練実施	B (B)	・東京総合医療ネットワークや医療介護SNS等を導入 ・サイバー攻撃対策(IT-BCP策定、訓練)
	B (B)			100% (±0%)					